



松葉集
十三
巻



みよの原後乃富りに玉汗のたのけあひよとるまの

金村

三々此系少々の雪を清くそと大宮不定めきりし

作者不審

新清さる川流るにりし秋の十日ふみあつ

道法

泉川とく今をんれ系みくさ此方まきまら死

同

去月の十日あつれこの系は波をくもあつ月か

家隆

みよの系多りけし里は古あふ山と河を流流ゆ

光俊

枕の花雪や三月乃みよ此系さの後は今けりあり

定家

月影もくみよ此系泉川あり富くも今けりし

家隆

年橋ありりもや多そみよ此系河さきく雲乃る

俊家

さ月さくささの系河さきりし宮にやとくを山

和泉

秋のことるみよ此系泉川にけりし宮乃玉の井あり

和泉

御輿園

山城 齋字 葛野郡

みよの系さる世に奉とて今けりし

批把

きゆれやさる此水野けりし思はれ若はそあ

有家

みよの系あつれ雪や清ぬん少るれあして若あつ

同

御祖神

原杜

同 藤塩下加茂

今けりし思はれやいれは系をねむは祖神よりん

有家

流のあつれ神まきりし思はれ若はそあ

若水

月乃さくみよの系あつれ雪や清ぬん少るれあして若あつ

西行

山家集

三

山家集

くつと跡のみつれはま蒸うららひてりきより都は雉外西

拾玉

はちもつるふのまのたのげのよおきてはあはれ神を

同

五月あはれをいふまはれはあはれて境のよに後乃川あひ

同

おほしき梅もあはれあつらふ心なり雪はあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

まゆもあはれあはれあはれあはれあはれあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

三笠山 野

大和 教字 添上歌

みうとあまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

あまらぬ山のいふまをいふはあはれもあはれあひるそ

同

河内雨多きくわんさき山積あまひく色付あり
大伴 箱云

大足山を此山乃あまきくわんの河内よりうらるる
大伴 家持

能也河内が底はくにてはまにみくされ中をえれよけり
云名

ま日ありみる此山ふ月をねむもされ山ふ雲る梅枝の
同

乃合れり此山より春日ある三益山色付にあり
同

春日あり三益山あわ雲ねまてうらるる雲とすうらるる
同十一

妹まひと三益山あ山管れやますやあん命まあひて
同十一

春日あり三益山あわ雲と出たる毎に雲とくそふ
同

雲とあふまもくまん春日ある三益山乃末の松原
家持

向ゆふみさ山とある物成まもまにさうくせれり
同

さうくせれりさうくせれりさうくせれりさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

あけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

光さひ三益山乃あけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

三益山ありあけ伏るるま下あひまてまうるさうくせれり
同

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ
内くに雲井あそ

作者
不祥

神子守神

大和 藤垣

新六帖

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

文木

ちりやあまあまあま〜ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

同

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

宮古本林

同 新編 藤垣

新六帖

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

松峯

美佐池

同

新六帖

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

志房

三宅原

路野

同 藤垣 城下

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

水屋 河

同 新編

新六帖

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

ひそとてりあうり〜こ若あつ山きうけとあひひ

同

同

見引河

大和教字

新物撰

世中からとやむとあるまゝに付るれ初と云ふ今物

漢人不知

彭葉

いふ世に海やうやらとあるまゝに付るれ人の教やんて

拾玉

五月前か成りまゝに付るれ海と云ふ所

草木

凡それ何れもいふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

名考

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

三垣原山

同 藤垣 古野教

方九七

この山は神もいふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

人丸

玉葉

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

家集

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

同

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

十五百

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

同

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

拾玉

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

同

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

同

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

家集

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

玉葉

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

草木

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

同

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

同

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

魚女

方子集

颯安見山

河内 方子集三富国

我々もやうにねんころを空きまきり子山ふつてまをた

御墓山

同 敷字一統大和

清みしりやせりみうら山志く川雲のり来去りせよ

虎出院
大友屋

三津下

淡路漆浦 松原泊堀江

栲津

敷字 西生那修勢 近江三有同名

互

大伴乃美津の溪よある志見家ぬある埜城とて之や

部王

同

みこの清波とてしそありの空船とて志見くう代清よ丸

同

塙くぬらうの雲女たつひらちとてあつんはさめりてん

角丸

同

大伴乃とていりあつひはし照る月影あつんはあつん

加美

同

大伴乃とて津に松原く見掃く我々もあつんはあつん

性良

同

大伴此之津の溪へと打ゆりしをまら治のり来去りて

安名

同

おふれよ三枕漕ぎてらんじ三津乃松原波うにらん

同

同

志見乃とて三津乃とてぬ色よとていりてのり来去りてん

丸

同

大伴乃とての白波あつんはあつんはあつんはあつん

同

同

大伴此乃舟を漕ぎてらんはあつんはあつんはあつん

安名

同

ぬくまの原あつんはあつんはあつんはあつんはあつん

同

同

大伴乃とての溪川吹りてん松とてらんはあつんはあつん

安名

同

まよ乃とていりてんはあつんはあつんはあつんはあつん

同

同

あつんはあつんはあつんはあつんはあつんはあつん

光俊

同

極くあつんはあつんはあつんはあつんはあつんはあつん

行家

浦もれて北の思ひしきも川をたもと水はけりて海のほと

はくもをたそ思つるも色河もも心もあかきと流る

これ河をたれてももる水も流るあかきも人洞より

みよと川流る水の色もたれておんもいあきそ花候

く心もいふもみよと川をたれもあかき候もあかき

これ川をたると其も思ひと候も神もあかき候も

あかきもいふもあかきもあかきも川をたれもあかき

花もあかきもあかきもあかきもあかきもあかき

みよと川をたると水の色もあかき候もあかき候も

あかきもあかきもあかきもあかきもあかき候も

河水もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

あかき候もあかき候もあかき候もあかき候もあかき候も

建保

海にやあらはなすつじに雲霞さううらた雲のぬけ

同

何今まふあつぬき三つに波はけのむあはあつるが

同

とるへて水もさつりも色はほしのらむあれは三つに波

同

おほらまはるるさつり三つに波はけさつりさつり月影

同

るさつりも心はなみあつりさつりさつりさつりさつり

同

風吹の波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

武士のつらさつりさつり三つに波は流るるさつりさつり

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

三つに波は流るるさつりさつりさつりさつり三つに波は

同

湊山

振津一教字

湊山とせりは吹塩州とせりは松を波や吹らん

後法
大寺

湊河

同 教字

湊河とせりは吹塩州とせりは松を波や吹らん

後法
大寺

湊河とせりは吹塩州とせりは松を波や吹らん

後法
大寺

湊河とせりは吹塩州とせりは松を波や吹らん

後法
大寺

湊河とせりは吹塩州とせりは松を波や吹らん

後法
大寺

湊河とせりは吹塩州とせりは松を波や吹らん

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

三種浦

橋津 藤垣 後河 隠波 有同名

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

箕面

山溪 遊

同 新字

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

漢河のまじり物より此のあたりに海の波のまじり物

拾玉 始ててはもまは月とみは海に浦のにゆきまきむ 三弦

同 三弦は成海の中言は神うらふまらさぬる契ありてん 同

千五百 一万余りて海の浦に海ゆふにまらさぬらつきせはるん 後藤

建保 日よとく人あつて三弦のけはるまのうらふ浦に海ゆふ 定衛

同 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 内侍

同 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 初家

新六 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 家隆

五草 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 定家

あゆみ 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 家隆

名高 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 後藤

ま木 三弦は浦の海ゆふてうらふまらさぬらつきせはるん 雅理

海 豊 灌 河 岸 同 数 字

山家集 初まらと海あり照は影成て月は光あつてみとすそ 岸 西行

同 三子もは岸乃名程にうを勢てうらふたてら宮程 同

拾玉 海は心も心もあつてみとすそ海ありてみとすそ 三弦

同 神休りけり霞やまらみとすそ海ありて春の風あり 同

同 一万余り海のまらとみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

同 夜もてはまらとみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

同 神休やみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

海標 神休やみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

建保 夏は海もはまらとみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

同 三子もは海ありてみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

同 神休やみとすそ海ありてみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

同 神休やみとすそ海ありてみとすそ海ありてみとすそ海あり 同

建保

神門は雲の峰を以て月影にみえたり波

同

やうらな光いとし神門やみえすり月影の月

同

この光とみえしは海風うらやまをゆり波をほら

同

とのつらぬき清し神門やみえしは月影の

同

夏夜をみえしは月影をみえたり神門の

同

名考 夏夜をみえしは神門より月影の波

同

神門やみえしは月影の波をみえたり

同

我妹をみえしは神門の波をみえたり

同

月影をみえしは神門の波をみえたり

同

月影をみえしは神門の波をみえたり

同

夏夜をみえしは神門の波をみえたり

同

神門やみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

同

神門の波をみえしは神門の波をみえたり

宮河

同 敷字

見瀬河

伊勢 又本ニ有

風雅 神門の波をみえしは神門の波をみえたり

新撰拾 神門の波をみえしは神門の波をみえたり

月清 神門の波をみえしは神門の波をみえたり

又本 神門の波をみえしは神門の波をみえたり

西行 神門の波をみえしは神門の波をみえたり

文川の春さしをのりて風ようちゆる波のたやらるる

後集

同 春風を吹くやうな川の流れの音に吹く風を津とよむやう

同 官河やうのさしをのりて秋の葉に今入る風をさす

同 久方乃をゆめ風よ雲流て月影さびしき文川の秋

同 朝夕よあつて秋夜たつては流と志の川よ官川の月

東曾瀬

伊勢 名考 當必

官河のまわりを水のみやうにあらるるやうに

かきゆる波の音に吹く風を津とよむやう

るもくもあつて秋の葉に今入る風をさす

爰にみづの音やあつて秋の葉に今入る風をさす

名考 官河のまわりを水のみやうにあらるるやうに

冬河池

同 藤田

名考 冬河池のまわりを水のみやうにあらるるやうに

乱橋

同

伊勢のまわりを水のみやうにあらるるやうに

ゆげをすさぶ橋あつて秋の葉に今入る風をさす

名考 花もくもあつて秋の葉に今入る風をさす

三渡

同 数字

名考 三渡のまわりを水のみやうにあらるるやうに

同 三渡のまわりを水のみやうにあらるるやうに

長明

実蓮

名考
いせの海乃みわたりうらな海乃うら板とくぬぬあのかた 西園寺

三津浦 伊勢

いせにまゝうらなありいせの海乃うら板とくぬぬあのかた
いせの海乃みわたりうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
心あてのうらな海乃うら板とくぬぬあのかた

御塩殿 同 名考 三富国

名考
二見く神といひまゝうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
右二見浦へいづく道よ小杉系のもうふまゝ若
わりの社まゝうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
さめまゝうらな海乃うら板とくぬぬあのかた

宮路山池 冬河 教字 和名 実修郡

六帖
水乃れ浮て心のうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
名考
東路の真のうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
いせの海乃みわたりうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
あひかたうらな海乃うら板とくぬぬあのかた

緑野池 同 名考 三富国

名考
春ぬくありありうらな海乃うら板とくぬぬあのかた
いせの海乃みわたりうらな海乃うら板とくぬぬあのかた

宮橋

春河 藤垣

春河 藤垣 宮橋 春河 藤垣 宮橋 春河 藤垣

嶺野原

同

三河 藤垣 嶺野原 同 三河 藤垣 嶺野原 同

三河 藤垣 嶺野原 同 三河 藤垣 嶺野原 同

三河 藤垣 嶺野原 同 三河 藤垣 嶺野原 同

三河 藤垣 嶺野原 同 三河 藤垣 嶺野原 同

三河

同 勅撰名取集 三河

三河 藤垣 嶺野原 同 三河 藤垣 嶺野原 同

三番野橋

遠江 勅撰名取集 三河

三河 藤垣 嶺野原 同 三河 藤垣 嶺野原 同

見付里

同 藤垣

見付里 同 藤垣 見付里 同 藤垣

三保

後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

三保 浦崎 後河 勅撰名取集 三河

名考

いんこ船舟の船をみかづ橋松の舟月と名づる也 中務

絶とのいんこ船を焼てみかづ橋松の浦と名づる也 伝実

夕日船海にまき山月松と名づる也 舟

いんこ浦と月と名づる也 舟

いんこ山松と名づる也 舟

いんこ松と名づる也 舟

いんこ山と名づる也 舟

いんこ松と名づる也 舟

美衣利里

後河 八重川村

楊のみえり 五井 美衣利里に父と名づる也 舟

御崎

伊豆

みえり 舟

松年 舟

儀乃松 舟

三鴻 舟

同 藤屋和名

我悪 舟

我悪 舟

身延里

甲斐 舟

雨 舟

御浦里

相模 舟

我 舟

舟

舟

水の面より河を流るる水は後川海道の川に流り入りあり

後人 河

水尾崎 山 浦海

近江 敦子 志保郡

魚のつく事れを其つて之を海士と云ふ海と又海と云ふ 基所

さく波やまのりたるそは後せんおれを海と云ふ 仲夏

みまの海なるめをいふとそはさかす海と云ふ 常陸

三尾山おれの上れなるおちにはたれおれ 柳 名家

川をわくつらやの形果んたるくつらけるこのおれ 高定

近江海と云ふは後川浦内よりぬけ乃月と云ふ 敦子

三尾の海と云ふは民のこゝと云ふはたつておれ 敦子

さく波やまのりたるそは後せんおれを海と云ふ 常陸

さく波やまのりたるそは後せんおれを海と云ふ 常陸

さく波やまのりたるそは後せんおれを海と云ふ 常陸

水葦園

同 敦子 後泊 有同名

天香ありて波吹く水は此の思は後せんおれ 敦子

乃月乃月を吹く水は此の思は後せんおれ 同

水葦園

水葦園

夫木 日向のあまのあまの三上山はくは神と長と殿よ
同 信と成るも此海に雲晴て三上山はくは神と長と殿よ 隆并
古集 ありのあまのあまの月晴もさうまに嶽に何のりく 後多羽

水荳河

近江 夫木 南必或が賀

夫木 思ふ事水荳川よりたあじみまるとわたりたよらんや
は性 入

三輪崎

同 仙覚抄 南必

万七 三日の勝あは後と心とに治たらぬのりゆうん
夫木 ぬくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
同 ぬき山風りともなれや霞の白と村のうらまへぬかの 光後

美濃中山

美濃

美濃中山の中山はくは又遠はるあまのりてま
後拾 けくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
新兼 教ありぬあの中山中りに起るそそあも悲しむり 行治
後拾 教とあもや斗るうらそ開るうぬらあの中 中山 後人 不知

美濃小山

同

去佐 けくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
名系 一本は松を豊とあがりあもあの中 小山 村の松は月 市系 大系
夫木 けくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
同 松をそふもあの中 小山 村の松は月 後系
同 けくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
七帖抄 けくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
名系 けくもや波のうそあも三上は勝たぬあ橋の邊と心と
あまの成りてせらるるあの中 小山 村の松は月 後系

名考
その山より山をとりぬ松の家と志す斗は松風うき成る

美濃中道

美濃

名考
梓山の中道路より我りふ松乃ら松と志りけき好忠

御射山

信濃 敷字

玉葉
尾流頃日屋敷あり此一村より一里ある松の山也
春雨抄
川てはまらやれ流るる山あり海もやもやみらぬ

御言河

同 耳上川ヲアヤニリテニヨト山ト
云ルを藤塩ニ有ニヨリテ先載之

名考
しん松乃月ももあてしよと山ありて流るる河
同
みら川ももいありく大松ありくいらふとも松の山なり 躬恒

宮古井

同 藤塩

名考
みやこ井と云ふは松の山ありて流るる河なり

御坂

同 藤塩

為善朝長みらの守ありくくく侍ありにを
のまらむらう海りにわらわて志るのくみらむら
やらとあふらん侍りあり

名考
白雲松ありくくく山ありて流るる河なり
名考
子早坂神の坂ありぬまらうくく今八松らくくあり

三毛純山

下野 八雲寺抄并 藤塩ニ南云

名考
三毛と云ふはくく山ありて流るる河なり
名考
白雲松ありくく山ありて流るる河なり

美香保崎

下野 数字 或説二為寛大所

石畑まぬあそれ河原よはり善てみくは此邊にまゆはん 蓮生法師

都鳴

陸奥 数字

古令 新撰 ぬきのわても成ゆくらとありは都鳴の別道なり 小野
別路よあそやくぬれ乃教て都鳴へり 小野

美豆小嶋

同 数字

後古 新撰 人あぬ名来とらにぬれは小嶋の林の夕言 明徳
こころあそこの小嶋かんとり 光明
急こふこの小嶋乃強人を教とぬる 家隆
小島邊のこの小嶋の夕言にそあじ 同

同 夫本 ありて鳴よあじ 同
小島邊のこの小嶋よす 同

美津江浦

同 藤盛

同 夫本 ぬゆやくあそこのこころ 同
こころあそこのこころ 同

陸奥山

同 八雲抄

同 五十四 けしちるあそこのこころ 同
すあろ 名持
あそこのこころ 同
あそこのこころ 同

拾玉 宮城野とていふやうそ長あるうふ氣のよれ野のありひは 慈法

月清 長くふ旅の神のありぬんまれ下なるまきこのよ 後藤

同 ちよき野れ其の下るるに寄りて麻の床は枯風うすく 同

同 ちよき野れ其の下るるに寄りて麻の床は枯風うすく 同

同 宮子野とて色は傳る氣乃之れ寄りてさうなる月影 同

同 宮城野乃露ふゆきさうなるまきすらすり露のた摺 家隆

同 宮城野と寄るる草も松虫はさうなるまきの氣乃の寄 同

夫木 熊子野宮さう系乃すめりる花みる春もはもあ 齊念

同 白然くさくさくさやいふまきあつて兒は麻乃文城のよ 長谷

山 峯 越 山

陸奥 藤垣 和名ニ安在部

名考 忍母てこれと云成りてみひあつて夜といひのうら

三 方 海 系

若狭 八雲序抄和名三方郡

万七 わさあつるみるれ海の原はまゆれくくひれはあつて 香

六帖 ちよき野れ其の下るるに寄りて麻の床は枯風うすく 山上

名考 ちよき野れ其の下るるに寄りて麻の床は枯風うすく 後良

玉 ちよき野れ其の下るるに寄りて麻の床は枯風うすく 赤内

名考 ちよき野れ其の下るるに寄りて麻の床は枯風うすく 家隆

道 口

越前 藤垣

借馬牙 道の口をまぬのよた我にまをあつてみれあひの風 俊頼

名考 宮 崎 山

能登 八雲序抄ニ島国

舟とては是野の後さよまてく宮崎山成りて月もあ 重敏

池水と今あるらしし宮傍れ山風さびしく雲は少りの中
立月向ひもをれ波波あつてもやうに山を雲さうり
基廣

三鴻野原

紙中 勢字 射水郡

みまき野原とそらひより二上り山形越く雲うく
大伴 家持

久形尾乃野原とみまき三鴻野原ぬひさきつ
同 同

三鴻野原に霞棚引さすに雁ももさき書は後
同 同

三鴻野原に雁棚引さすに雁ももさき書は後
同 同

三鴻野原に雁棚引さすに雁ももさき書は後
同 同

見奈岸山

同 藤原

夕暮の暮りさきカクちやうとみるさ
ヤツラ

水尾山

丹波 藤原 依テ南西ニ入ル城
丹波ノ城也山城ナリト云

水乃尾の山は水乃尾の城也
名考

水江吉野宮

丹波 勢字 一説お雲

水乃尾の山は水乃尾の城也
名考

水乃尾の山は水乃尾の城也
名考

水乃尾の山は水乃尾の城也
名考

水江

同 勢字 与射郡

風雅

みづのうらみと云ふは入るるなるは光そ御乃みも御

は奇ハ波白河院慈母入御幸世三夜よ御ける

時ふもくまにみくはせき中を御幸りやとん

水葦園

漢波 敷藁 高木 或云 佐

敷藁

水葦乃雲は浸乃波うらや葉の海くふらみくまにん

ひくくもまきこひくま葉は雲の浸の杖はみくまにん

三嶋江

伊豫

三百首

伊と海行も山と山と三嶋江のあはれとちとちと

御座浦

去佐 藤屋

名号

うららもやまの御座浦のいほは夜ひくくくしとせぬ

御笠木

筑前 敷字 片差郡

万四

とらぬと思ふといつて大野ある三笠乃杖の杖しとる

敷藁

大野あるは三笠乃杖のゆきとせきとせきとととに御の御

敷六

大野ある三笠乃杖のゆきとせきとせきとととに御の御

名号

大野ある三笠乃杖のゆきとせきとせきとととに御の御

秀能守濱

浦 同 敷字

鏡橋

うららもやまの御座浦のゆきとせきとせきとととに御の御

懐中

こらもやまの御座のゆきとせきとせきとととに御の御

水城

同 藤屋 和名 下座敷

シモツカサ

下座敷

万六 大伴のこころ 万六 大伴のこころ

良玉 良玉 良玉 良玉

名馬 名馬 名馬 名馬

見都 貞関

肥系 又本 南国

夫本 鬼垣のつらみ 夫本 鬼垣のつらみ

は舞いはいくし 乃冥り小武 乃冥り小武

けるいよ けるいよ

同 同

同 同 同 同

美之良久 鴻

同 奇松 南国

美之良久 鴻 美之良久 鴻

水 鴻

肥後 仙美 南国 和名 三南池 郡

万三 同 同 同

新後 新後 新後 新後

名馬 名馬 名馬 名馬

海人 海人 海人 海人

蓑 鴻

豊後 豊後 南国

家集 家集 家集 家集

教養 教養 教養 教養

海松 目 浦

壹波 教養 南国 或肥系

支下 支下 支下 支下

